

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョブサU18拝島教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76枚	(回答者数) 39枚
○従業者評価実施期間	2025年12月20日		2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	コミュニケーション能力の向上を中心としたトレーニングを提供している。	保護者/ご本人のニーズが、発信力や会話力・質問力の強化、聴く力を養うなど多岐に渡っているが、根本であるコミュニケーション力へのアプローチを重点的に行うことができている。	個々の苦手や課題にあわせた支援内容をどのスタッフもできるように、支援力の向上を図る。
2	児童発達支援から放課後等デイサービス、就労移行支援まで、お子様の成長を多角的にサポートする各業態を運営している。	移行時期にはスタッフ間で情報共有を行ったり事前見学の機会を設ける事でスムーズに移行できるよう工夫をしている。	移行先(受入側)が定員でお待ちいただく事がある為、こまめに情報発信をしながら見通しを持てるように徹底していく。
3	給付管理業務を本部で一括している為、直接支援を優先した動きを取ることができている。	他事業所との請求関連の連絡も本部で行っている為、やり取りがスムーズで効率化を図ることができている。	現時点では請求書の発行は教室業務としている為、その部分も切り分けられるよう、検討を重ねていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団のみの提供を行っている為、個別枠の提供ができない。	個別トレーニングと異なり集団トレーニングでは活動プログラムを予め定めている為、個々の要望を直接的に長時間取り入れることが困難な場合がある。	限られた時間であるが、ニーズにあわせて充実したアプローチができるようスタッフ間の支援力を強化する。 また、提供人数が少ない時には出来る限り個々に対応できるよう準備を行う。
2	保護者の方との連絡ツールが電話が書面のみである。	情報発信や連絡のやり取りが全て電話での対応となっており、保護者の方からメールでのやり取りはできないかご要望を受ける事がある。	法人として、利用日の確認・欠席連絡・イベント等の出欠管理が、保護者の方にとって少しでも楽になるよう、来年度中には、システムの導入が実現できるよう現在準備中。
3			